

あけまして
おめでとうございます。

私たちは『広報いしかり』の

制作・印刷をお手伝いしています。

今年も市民の皆さまの声を生かし、

よりわかりやすい、よりお役に立つ

広報紙を目指してまいります。

平成十八年 元旦



広 告

『広報いしかり』の広告は、キューブコーポレーション
☎011-614-1616までお申し込みください。



市制十周年を 新市で迎えて

明けましておめでとうございます。

昨年は、足かけ四年を費やし取り組んだ合併問題も決着し、「新石狩市」が誕生しました。

新市は、都市的機能に加え、石狩湾北部に向かって姿を変えながら、緩やかな弧を描く海岸線や、道民の森に連なる深い森林、国定公園を擁す自然美とともに、確かな一次産業に支えられた豊かな食材供給や観光資源など多様な機能を有する都市として歩み始めました。

今年はこちら素材を生かし、都市の個性や魅力ある地域産業を育てる最初の年となります。取り組みの最優先は、市民間での情報交流であり、新市まちづくりの意識を醸成し、さまざまな視点での提案と実践が生まれてくるものと考えます。

まちに住まいする人・集団、歴史・文化、地域商品等のさまざまな情報を互いが知ること、新市としての誇りや厳しい地域間・都市間競争時代に対応する都市力が養われ、合併の効果もこのような中で次第に実感がついてくるものと思います。

三位一体改革については、どうか国と地方の間で合意がされました。必ずしも理念どおりとはいかず、最後には数字合わせの感もありましたが、ともかく地方の自主・自立への道を開いたことは特筆すべきことで

あり、新市においても「市民協働」「小さな市役所」を基本に、さらなる行財政改革に取り組んでまいりたいと考えます。昨年の第四回市議会定例会最終日に可決された、民間・地域力を生かした公共施設の管理運営は、もはや市役所が税金ですべての公共サービスを提供する時代の終焉しゆげんを示す象徴であり、今後においてもあらゆる事業において、従来型システムの大きな変革を進めていかなければなりません。

今年が市制十周年を迎える節目の年であるとともに、新市発展のための新たな階段を二歩一歩、歩み始めることとなりますが、その道のりはなお厳しく、険しいものがあります。しかし私たち行政も市民も、ともにまちづくりに真摯しんしに取り組むなら、「新石狩市」はその期待に十分応える発展性豊かな基盤を持つています。

皆さんのまちづくりへの参加を心よりご期待申し上げるとともに、この二年が健やかで幸いであることを祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成十八年 新春

石狩市長

田岡 克介